

令和6年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク

第2回 概要報告

奈良教育大学 ESD・SDGs センター研究員 杉山 拓次

実施日：2024年6月22日（土）9:00～12:00

参加者：4名

（学部生：3名（途中早退1名）、教職員：杉山、大西）

■実施場所：春日山原始林

■第2回 雨の季節の森を歩く（春日山遊歩道北部）

2024年6月22日（土）9:00～12:30

概要：梅雨時期の春日山原始林を歩きます。雨に濡れた森の美しさを感じるとともにコケなどの小さな植物を観察します。また、近年の豪雨の影響などについても触れ、春日山原始林の現状の課題についても考えます。（晴天でも実施します）

9:00 春日大社国宝殿前集合

9:05 挨拶・出発

9:00 春日山遊歩道（北部）を歩きながら解説

12:00 若草山山頂

12:30 若草山下山・解散

■概要報告

梅雨時期の春日山原始林を歩くフィールドワーク。前日に雨が降ったため、森は美しい状況となった。参加人数が少なかったため、じっくり歩きながら自然の中の小さな生き物（コケ、シダ、キノコ等）を中心にルーベを使って観察しながら歩いた。前日が雨であったこと、当日は天気も良かったことから、菌類（キノコ）を複数観察することができた。トダテグモに寄生するクモタケのほか、テングタケの仲間やウスタケ、ノボリリュウタケ、イグチの仲間など、それぞれ手で触れたり、観察しながら楽しんだ。生き物についても、トカゲやタゴガエルのほか、甲虫やクモなどが観察できたがまた、シダの葉裏の胞子嚢群（ソーラス）の観察、コケの観察、変形菌なども見つけることができた。また、自然の美しさや、植物の規則性についても簡単に触れ、自然を捉える視点を変えることで多様な楽しみ方があることに気づいてもらった。自然当初の予定では、遊歩道を途中折り返す想定であったが、学生の希望により、若草山山頂まで歩き、山頂から若草山へ入山する形で下山し、解散した。

■写真



遊歩道入り口付近からコケなどを観察



水谷橋の欄干に出ている変形菌



地衣類 (ヒメジョウゴゴケ?)



ズジブトハシリグモ



ホタルガ



この日一番大きかったキノコ